

石油暖房機器を使用される皆様へ

## 古い灯油にご注意を！

冬場になると、石油ストーブ等の燃料として灯油を使用する機会が多くなってきます。

灯油は古くなると光や熱により劣化し、使用に適さない不良灯油となってしまう恐れがあります。

不良灯油は不完全燃焼や異常燃焼などを起こし、暖房器具の故障の原因になるだけでなく、事故や火災の引き起こす恐れがあります。

前シーズンに使い残した灯油の使用は避け、今シーズンのものは使い切るようにしましょう。

### 1 不良灯油が起すトラブル

- ★ 点火時、火が点きにくくなる、火が点いても消えてしまう。
- ★ 燃焼時、臭いがきつく目しみる。
- ★ 消火しにくいまたは消火できない。

※このような症状が出たら使用を止め、必要に応じて暖房器具の点検をしましょう。

**不良灯油の見分け方**

 <p>○ 正常 灯油</p>	 <p>× 変質 灯油</p>	 <p>× 不純 灯油</p>
<p>◆色が着いていない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○透明である</li><li>○不純物の混入がない</li><li>○灯油の臭いがする</li></ul>	<p>◆うす黄色になっている ◆すっぱい臭いがする</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○昨シーズンより持ち越した灯油</li><li>○温度の高い場所で保管した灯油</li><li>○日光のあたる場所で保管した灯油</li><li>○乳白色のポリタンク(水用)で保管していた灯油</li><li>○容器のふたが開けてあった灯油</li></ul>	<p>◆水が混入している場合は 水が下に溜まる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○水やごみなどが混入した灯油</li><li>○ガソリン、軽油、シンナー、機械油、天ぷら油などが混入した灯油</li><li>○灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油</li><li>○水抜剤や助燃剤を添加した灯油</li></ul>

※保管状態によっては、色が着いていなくても変質灯油になっている場合があります。

### 2 正しい容器を使いましょう

容器は消防法令の試験基準に適合した容器を使用してください。

危険物保安技術協会の性能試験に合格したものの、自主的に性能試験を行い性能をクリアしたものはラベルが表示が付いています。

また、「UN」と表示されているものも同等の試験に合格したものとされています。



灯油用ポリ容器の例

### 3 保管方法

- ★ 保管場所は、火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で行いましょう。
- ★ 容器の蓋はしっかりと閉めて保管しましょう。
- ★ 灯油はシーズンを持ち越さず、使い切るようにしましょう。

問合せ先  
薩摩川内市消防局  
予防課危険物係 電話 22-0135